

施策評価表

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日(課長等)	元 年 9 月 30 日
2次評価日(部長等)	元 年 10 月 1 日

1 施策の概要

施策名	子育て支援の充実	コード	5-1
この施策の主な内容(細施策)	(1) 地域と共に支える子育ての推進 (2) 子育て支援サービスの充実 (3) 子どもの育成支援 (4) 婚活に対する支援		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児と就労の両立を図る ・ 安心して子どもを生み育てることができるまちづくりを展開する ・ 幼稚園、保育園、小学校と連携を深め、幼児教育の充実を図る 		
担当部課	部 健康福祉部	課等 子ども課	作成者 原 尚彦

●施策の実施内容 (D0)

2 施策指標の達成状況

*第4次総合計画(最終年度:平成30年度)における目標指標の達成状況、第5次総合計画(前期計画:令和5年度)における目標値

施策指標名	単位	28年度	29年度	30年度		元年度	5年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値(第5次)	目標値(第5次前期)
① 地域子育て支援センターの延べ利用者数	人	5,507	5,385	7,500	5,722	76.3%		
指標説明	保育園併設の子育て支援センター(あやめ・川岸・みなと)の利用者数。地域で子育てをしている親の負担感などの軽減を図るため、相談や情報提供に努めるもの。							
② 子育て支援館の延べ利用者数	人	36,389	34,536	41,000	35,507	86.6%		
指標説明	子育て支援館(こどものくに)の利用者数。子どもへの遊びの提供のほか、親同士の交流を促して、子育てに関する相談や情報提供に努めるもの。							
③ 今後もこの地域で子育てしていきたいと思う保護者の割合	%					-	100	100
指標説明	3~4か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診時に行うアンケート調査において「今後もこの地域で子育てしていきたいと思う」と回答した保護者の割合。子育て支援サービスの充実を図り、満足度の向上に努めるもの。							
④ 待機児童数0人を維持	人					-	0	0
指標説明	保育の希望に応えられる体制を整え、待機児童数0人の維持に努めるもの。							

3 施策全体にかかる合計コストの推移

*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位:千円

	28年度	29年度	30年度	元年度(予算)
直接事業費	1,682,928	1,692,367	1,395,191	1,663,432
人件費	710,400	710,400	662,400	662,400
合計コスト	2,393,328	2,402,767	2,057,591	2,325,832

●施策の評価 (CHECK)

4 施策の現状評価

*30年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調/不調の判断

少子化に伴い、総体的な児童数が減少している中で、子育て世代の生活環境や働き方の変化などを受け、多様なニーズに合わせた子育て支援及び保育サービスの提供が求められている。平成27年度からスタートした子ども・子育て支援新制度のもと、子どもや子育て世帯への様々な支援の充実が図られてきた中で、平成30年度は概ね順調に事業を推進することができた。児童数の減少などの環境の変化に伴い、目標とする施策指標には至っていないが、子育て環境全体で子ども・子育て支援策の充実を図っているため、施策満足度は概ね良好と判断している。

*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み/弱みとなる要因

岡谷市の強み	最寄の施設で子育てサービスを受けやすいコンパクトな市域環境 地区のバランスを考慮したサービス提供のしやすさ
岡谷市の弱み	児童数の減少及び地域間の児童の偏り

5 今後の外部環境の変化

* 令和2年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	平成27年度から子ども・子育て支援新制度がスタートし、令和元年10月からは幼児教育・保育の無償化が始まるなど、国を挙げて子育て支援サービスの充実が図られている。
不利に働くもの	子育て支援に関わる国の施策が拡充基調にある中で、施策に見合う財源手当が十分ではなく、サービスの充実に応じて、地方の財政負担が増加する。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 令和2年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由

* 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	子育て環境において重要な役割を担う保育園整備事業については、平成24年度に策定した岡谷市保育園整備計画（前期）に基づく施設整備が、発達支援施設を併設した新西堀保育園の令和2年度の完成を以って終了することから、保育園整備計画（中期）の策定を進め、早期に保育環境の充実を図ることができるよう、計画的に事業を推進する。 また、困難や悩みを抱える子ども、家庭が増えている中、相談件数や虐待件数も増加傾向にあることから、様々な機会を通じて相談に応じ、適切な支援に努める。
見直しを行う分野	厳しい財政状況の中でも第5次岡谷市総合計画の重点プロジェクト「輝く子どもの育成」に向け、各種子育て支援施策を展開するため、全庁的な取り組みにより必要な事業の選択と集中を図り、より効果的な施策を推進する。 また、新西堀保育園に併設する発達支援施設の事業内容、運営体制等の充実を図るため、現在のまゆみ園の事業内容等の見直しを進める。

●令和2年度の優先度

* 方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標			直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度		
					指標名	単位	28年度						28年度	28年度
							29年度						29年度	29年度
							30年度						30年度	30年度
元年度(予算)	元年度(予算)	元年度(予算)												
1	一般	あり	地域子育て事業	育児ファミリーサポートセンターの延べ利用回数	回	311	14,439	9,600	高い	継続して実施	B：現状維持			
						112	14,147	9,600						
						90	16,617	9,600						
						100	18,232	9,600						
2	公共施設	あり	子育て支援館管理事業	年間利用件数	件	15,169	13,230	8,000	標準	継続して実施	B：現状維持			
						14,441	13,518	8,000						
						14,554	13,687	8,000						
						15,000	14,356	8,000						
3	公共施設	あり	通園訓練施設まゆみ園管理事業	年間利用者数	人	907	6,835	2,000	標準	継続して実施	C：見直し			
						641	7,347	2,000						
						1,077	7,553	2,000						
						1,000	7,722	2,000						
4	一般	あり	保育園管理事業	保育日数	日	293	613,594	674,400	高い	継続して実施	B：現状維持			
						293	634,085	674,400						
						293	585,380	626,400						
						293	598,339	626,400						
5	建設	なし	保育園園舎等整備事業	進捗率	%	39.4	238,946	4,000	高い	継続して実施	B：現状維持			
						55.5	249,844	4,000						
						57.6	31,866	4,000						
						-	198,207	4,000						
6	内部	あり	児童手当給付事業	-	-	-	789,162	5,200	標準	継続して実施	B：現状維持			
						-	767,136	5,200						
						-	733,907	5,200						
						-	820,687	5,200						
7	一般	あり	発達支援事業	フォローアップ教室開催日数	日	233	6,722	7,200	標準	継続して実施	B：現状維持			
						284	6,290	7,200						
						222	6,181	7,200						
						250	5,889	7,200						
8														